

われわれの病院・診療所は  
働くひとびとの医療機関である



船橋二和病院ホームページアドレス  
https://www.futawa-hp.jp



船橋二和病院  
船橋二和病院健康友の会  
〒274-0805  
千葉県船橋市二和東5-1-1  
TEL 047(448)7111(病院)  
TEL 047(449)4417(健康友の会)  
発行責任者 宮野 暁  
月一回発行 1部 50円

# 核兵器廃絶を願って行動した夏!!

## 日本こそ 核兵器禁止条約に参加を!



2023年 原水爆禁止国民平和大行進  
二和地域の網の目行進 (7月20日)

核兵器のない平和な世界を願う  
平和行進で訴え

核戦争の危機を増大させる抑止論が叫ばれる中、被爆78周年となる今年、今こそ核兵器の禁止をと「原水爆禁止国民平和大行進」が行われました。北海道を出発した行進は、7月12日(水)に香取市から千葉県船橋では20日(木)に7ヶ所で網の目行進が行われ、214名が参加。午後3時

核戦争の危機を増大させる抑止論が叫ばれる中、被爆78周年となる今年、今こそ核兵器の禁止をと「原水爆禁止国民平和大行進」が行われました。北海道を出発した行進は、7月12日(水)に香取市から千葉県船橋では20日(木)に7ヶ所

### 網の目行進 二和コースに40名が参加

二和地域では、コロナ禍で2019年より中止していたため4年ぶりの再会となりました。

船橋二和病院・反核平和委員会が中心になり準備され、行進の前に被爆者健診を長い間行っている高橋稔医師を講師に、『平和行進の歴史、被爆者思い』と題して学習会が行われました。被爆者の実態を再認識させられ、「戦争さえなければ原爆は落とされなかつた」との言葉に平和への思いを一層強くして、研修医4名を含む40名で網の目行進に出発しました。



高橋稔医師の講演

を越え、日差しも強い中で行進でした。病院に戻ってからは、休憩を取りながら『はだしのゲン』の映画を鑑賞しました。翌日は船橋からバトンを引き継いだ鎌ヶ谷市でも取り組まれました。



鎌ヶ谷市でも行進でアピール

### 原水爆禁止世界大会 in長崎に参加して

二和病院リハビリテーション科  
村木正昭

3年ぶりとなる対面での原水爆禁止世界大会が開催された。世界大会には海外の15か国/地域から41名の参加もあった。特に印象的だったのはウ



たが、被爆された方々が体験を伝えることが今日つながっていることに気づいた時、鳥肌がたつた。被爆された方々の平均年齢が85歳。実体験者任せでは済まされない時期が身近に迫っている。日本人として体験を語る役目がある、といった海外スタッフの発言が目に残っている。

海外の人々がなぜ世界大会に参加するのか、核兵器禁止条約に92か国もの国が批准しているのか疑問だった。日本全国にも真剣に向き合い具体的行動をしている方々がたくさんいることを体験した。自分も伝える一人になろうと思う。

### マイナ保険証って本当に必要?

4月から始まったマイナ保険証は、問題噴出で混乱していますが、現行保険証廃止の見直しはしないと政府は言い切っています。

#### 実際の利用状況は

ふたわ診療所では毎日500人以上が受診されますが、マイナ保険証で認証を行う方は1日10人程度、多くても20人を超えません。割合にして2%、多くても4%程度です。国民の50%がマイナ保険証を申請していると言われていますが、使用率が低い状況は変わっていません。

#### マイナ保険証の問題点

- ①機械で「資格が確認できません」と表示されるだけで、全額自己負担となります。負担割合3割の方で現状の3.3倍、1割の方ならなんと10倍に支払いが増えますので、一時的とはいえ負担が増えることで受診を止める人が出てくればいのちにかかわる問題にもなります。
- ②施設入居者などでは、カードを自己管理できない方や職員にも困難が降りかかります。施設職員に暗証番号を含めて管理させることに対して批判が出ると、あわてて暗証番号のいないカードを発行すると言い出すなど、場当たりの準備不足が露呈しています。
- ③病院への負担も重くのしかかります。認証端末・専用パソコン・専用回線・電子カルテソフト改修など1台導入するだけで40万円以上かかり、援助するスタッフ配置で人件費も増えます。これらの負担を理由に廃業される医療機関も出ています。
- ④一本化されたマイナカードを紛失した場合、本人確認はどうやってするのか、マイナ保険証がない状態で受診できるのかなど懸念されることが次々と出てきています。
- ⑤保険証が廃止されると、マイナ保険証の窓口負担割合の誤登録をチェックする手段がなくなります。

#### 現行保険証の継続が一番の問題解消の道です

マイナ保険証の混乱は、現行保険証で問題なく運用されていた制度を、無理やりマイナンバーと紐づけマイナ保険証に拙速に一本化しようとしたことに起因しています。まさに人災です。

各種世論調査でも国民の意思は明らかです。「現行の保険証を失くすな!」と、様々な団体が署名活動に取り組んでいます。ぜひご協力ください。

ふたわ診療所外来医事課 近藤 純

